

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業モデル
 ～「考える・分かる・力を付ける」授業づくり～

鹿児島教育事務所

指導過程		指導上の留意点	
導入 (5～7分)	学習課題の提示 ◇ 前時や既習とのつなぎ ◇ 学習計画 ◇ 動機付け	何を学ぶか(学ぶ意義と系統性を踏まえた授業)	目標の明確化と学習課題の工夫 【導入課題の工夫】 ◇ 知的好奇心を高める教材の提示 ◇ 既習の知識とずれが生じる資料の提示 ◇ 日常に関わる問題場面の設定 等
	学習問題(めあて)の設定 ◇ 焦点化 ◇ 意欲付け		【まとめにつながるめあての設定】 ◇ <u>疑問形式のめあて</u> の提示
展開 (25～35分)	学習の手順や方法解決への見通し ◇ 学び方の理解 ◇ 解決の見通し ◇ 結果の見通し	どのように学ぶか(学習・指導の改善・充実、子供一人一人の発達をどのように支援するか(子供の発達を踏まえた指導))	見通しの重視 ◇ 考えるための情報や方法の提示及び共有
	自力解決・相互解決 ◇ 一人学び→ペア学習 ◇ 小グループ→全体 ◇ 操作活動 ◇ 表現活動		主体的・協働的な学習活動の工夫 【考えの記述】 ◇ 考えを記述する場の設定 ・ 図や表など視覚的に表現 ・ 比較, 分類, 関連付けなど見方・考え方の育成 ◇ 考えが浮かばない児童生徒への対応
終末 (5～10分)	明確なまとめ ◇ 補充問題 ◇ 発展問題 ◇ 鹿児島チャレンジ・ページの活用 ◇ 諸調査における過去問への取り組み	※矢印は、教材研究の順番を表す。	【話し合いによる練り合い】 ◇ 話し合う視点の明確化 ◇ 前の発言と結び付ける発表 ◇ 考えの変容を意識化する手立て ◇ 話し合いの雰囲気やルールづくり 等
	振り返り ◇ 自己評価や相互評価の実施		何ができるようになるのか(育成を目指す資質・能力)
		何が身に付いたか(学習評価の充実)	振り返りの重視 【見届けと補充指導】 ◇ 児童生徒一人一人の達成状況の確実な把握 ◇ 達成状況に応じた補充指導の確実な実施

